

作物の種類		寒地型イネ科多年生牧草		460		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	草型	10個体、2反復	観察		直立	やや 直立 ～直 立	やや 直立	中 ～や や直 立	中	中	中 ～や やほ ふく	やや ほふ く	やや ほふ く ～ほ ふく	ほふ く	出穂始における株の外周部の主要な茎が地表と作る角度
2	草丈	10個体、2反復	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										穂揃期における主要茎の地際から先端までの長さ	
3	穂長	10個体、2反復	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										穂の最下位1次枝梗基部あるいは穂首から先端までの長さ	
4	葉身長	10個体、2反復	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										止葉下第1葉の葉身の長さ	
5	葉身幅	10個体、2反復	測定	mm（小数第2位を四捨五入）										止葉下第1葉の最大葉幅	
6	出穂始日	10個体、2反復	観察	年月日										個体の出穂始日の平均値	
7	茎の太さ	10個体、2反復	測定	mm（小数第2位を四捨五入）										穂揃期における最長出穂茎の穂直下節間の長径を測定	
8	穂数	10個体、2反復	観察		極少	より 少	少	やや 少	中	やや 多	多	より 多	極多	穂揃期における出穂茎の多少	
9	株の広がり	10個体、2反復	観察・測定		極小	より 小	小	やや 小	中	やや 大	大	より 大	極大	出穂期における株の広がり（タテ×ヨコ）、地下茎あるいは匍匐茎を持つ牧草	

作物の種類		寒地型イネ科多年生牧草		460	1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	出穂期	10個体、2反復	観察	年月日									有効茎数の50%程度が出穂を始めた日	
2	出穂期の草高	10個体、2反復	測定	cm（小数第1位を四捨五入）									出穂期における植物体の自然高	
3	稈長	10個体、2反復	測定	cm（小数第1位を四捨五入）									穂揃期における主要茎の地際から穂の最下位の1次枝梗の基部あるいは穂首までの長さ	
4	茎数	10個体、2反復	観察		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	穂揃期における茎の多少
5	穂の太さ	10個体、2反復	測定	mm（小数第1位を四捨五入）									最長出穂茎の円筒状穂の最大直径、円筒状穂を持つ牧草	
6	葉色	10個体、2反復	観察		極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	節間伸長期における葉身の緑度
7	出穂茎率	10個体、2反復	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	再生草における全茎数に対する出穂茎数の比率
8	秋の出穂性	10個体、2反復	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	再生株の秋の出穂茎の多少
9	播種当年の出穂性	10個体、2反復	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	出穂茎の多少(寒地春播きの場合)
10	葉質（粗剛度）	10個体、2反復	観察		極柔	より柔	柔	やや柔	中	やや剛	剛	より剛	極剛	節間伸長期～出穂始における葉の粗剛度を触感により測定
11	1000粒重	10個体、2反復	測定	g（小数第3位を四捨五入）									計20個体（10個体2反復）の混合精選種子を100粒4反復秤量して1000粒重に換算	
12	20穂重	10個体、2反復	測定	g（小数第2位を四捨五入）									20穂の風乾物重	
13	着葉角度	10個体、2反復	観察		極狭	より狭	狭	やや狭	中	やや広	広	より広	極広	1 番草穂揃期前後の最長茎と止葉の着葉角
14	茎節着色	10個体、2反復	観察		無色	より淡	淡	やや淡	中間	やや濃	濃	より濃	極濃	伸長茎節の紫着色の程度

作物の種類		寒地型イネ科多年生牧草		460	2次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	春の草勢	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	刈取り秤量を想定した早春の草量の評点
2	夏の草勢	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	刈取り秤量を想定した夏季の草量の評点
3	秋の草勢	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	刈取り秤量を想定した晩秋の草量の評点
4	越夏性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	初秋における枯死率、再生茎率、草勢等から総合的に評点
5	越冬性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	早春における枯死率、再生茎率、葉枯れ程度から総合的に評点
6	再生性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	1番草刈取後1～3週間目の再生状況
7	耐倒伏性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	1番草出穂期における倒伏の程度を評点

作物の種類		寒地型イネ科多年生牧草		460		2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	斑点病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	斑点病菌の人工接種又は汚染圃場における罹病程度から抵抗性の強弱を評価
2	がまの穂病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	がまの穂病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
3	雲形病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	雲形病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
4	さび病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	さび病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
5	雪腐病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	雪腐病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
6	すじ葉枯病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	すじ葉枯病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
7	葉腐病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	葉腐病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
8	炭疽病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	炭疽病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
9	うどんこ病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	うどんこ病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
10	葉枯病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	葉枯病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
11	網斑病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	網斑病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
12	かさ枯病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	かさ枯病菌による罹病程度から抵抗性の強弱を評価
13	耐虫性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	虫害の発生程度により耐虫性の強弱を評価(害虫名または症状を記入)

作物の種類		寒地型イネ科多年生牧草		460	3次必須項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	生草収量（春季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）									春季（～6月）刈取草について測定、秤量面積は1区2㎡以上
2	乾物率（春季）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）									春季（～6月）刈取草について、生草300～500gを70℃48時間以上、恒量になるまで通風乾燥し、乾燥器より搬出直後に秤量
3	乾物収量（春季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）									春季（～6月）刈取草について、（生草収量×乾物率）により算出
4	生草収量（夏季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）									夏季（7～8月）刈取草について、春季と同様にして測定
5	乾物率（夏季）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）									夏季（7～8月）刈取草について、春季と同様にして測定
6	乾物収量（夏季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）									夏季（7～8月）刈取草について、春季と同様にして算出
7	生草収量（秋季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）									秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして測定
8	乾物率（秋季）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）									秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして測定
9	乾物収量（秋季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）									秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして算出

作物の種類		寒地型イネ科多年生牧草		460	3次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	乾物消化率	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)										酵素法または近赤外分析法による(乾物中%)
2	単少糖	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)										アルコールで抽出、フェノール硫酸法で定量(乾物中%)
3	粗たん白質	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)										ケルダール法又は近赤外分析(乾物中%)
4	ADF	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)										酸性デタージェントーアセトン洗浄(乾物中%)
5	NDF	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)										中性デタージェントーアセトン洗浄(乾物中%)
6	ADL	2区、2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)										酸性デタージェントリグニンとして定量(乾物中%)
7	採種性	2区、2反復	測定	g (小数第1位を四捨五入)										1区1㎡以上より採種し精選した種子重量
8	嗜好性	2区、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	放牧又は自由選択試験による評価
9	採食性	2区、2反復	測定		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	放牧又は自由採食試験により単位時間に採食した量による評点